

世界農業遺産って？

— Globally Important Agricultural Heritage Systems

世界農業遺産 (GIAHS) は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた伝統的で独自性のある農林水産業と、それと密接に関わって育まれた文化、景観 (ランドスケープ・シースケープ)、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった地域のシステムで、国際連合食糧農業機関 (FAO) によって認定されます。

兵庫県

大阪府

奈良県

関西国際空港



有田・下津地域

和歌山県

南紀白浜空港

日本一のみかん産地

有田・下津地域について

— About the Arida-Shimotsu region

有田・下津地域は、和歌山県北西部に位置し、海南市 (旧下津町)、有田市、湯浅町、広川町、有田川町 (旧吉備町、旧金屋町) のみかん産地を対象としています。農家の9割以上がみかんを栽培し、日本一のみかん産地を形成しています。

Access

車	大阪市内から阪和自動車道で約1時間15分～1時間30分 下津IC、有田IC、湯浅IC、広川IC 下車
電車	新大阪駅からJRきのくに線で約1時間30分～2時間 加茂郷駅～広川ビーチ駅間 下車
飛行機	関西空港から車で約45分～1時間、JRで約1時間15分～1時間45分 白浜空港から車で約1時間15分～1時間30分

有田・下津地域世界農業遺産推進協議会事務局
(和歌山県 里地里山振興室)

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地
Tel: 073-441-2867
Mail: arida.shimotsu.giahs@gmail.com

<https://giahs-arida-shimotsu.jp>



有田・下津地域の
石積み階段園
みかんシステム

世界農業遺産



有田・下津地域世界農業遺産推進協議会

有田・下津地域の 石積み階段園みかんシステム

The Stone Terraced Mikan Orchard System
of Arida-Shimotsu Region

有田・下津地域は、400年以上前から農家の手により壮大な石積み階段園を築き、維持してきました。江戸時代には日本で初めての共同出荷組織「蜜柑方」が結成されました。

自然条件を巧みに活かして様々な品種のみかんを導入、貯蔵技術も駆使することで、8か月もの長期にわたる安定出荷を実現した、世界的に重要な農業システムです。

世界農業遺産 「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」の特徴

01 石積み階段園



江戸時代から、山を開墾して石積み階段園を築き、高品質のみかんを生産しています。こういった世界的にも珍しい土地利用により、独自の景観が形成されました。

02 みかんの貯蔵庫



下津地域では、収穫後のみかんを木造・土壁の貯蔵庫で貯蔵し、糖分と酸味のバランスを整え、自然の力で甘みを増した「蔵出しみかん」が1月から4月にかけて出荷されます。

03 伝統的な神事

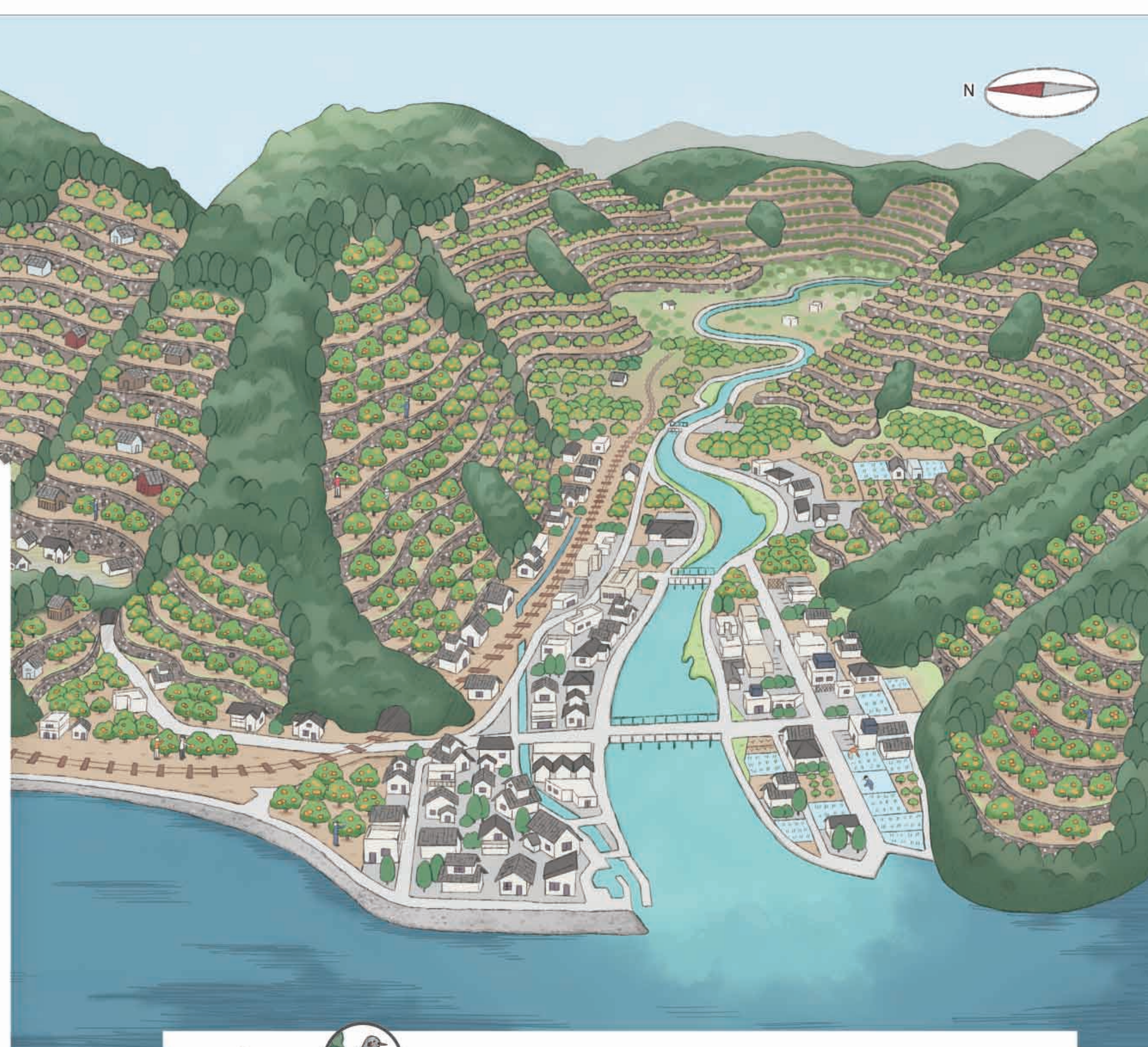


有田・下津地域には、みかんにまつわる深い伝統文化が根付いています。みかんの神に豊作を祈願する神事が催され、江戸時代に嵐の中、海に船出して江戸にみかんを運んだ豪商「紀伊国屋文左衛門」にちなんだ祭りが、毎年開催されています。

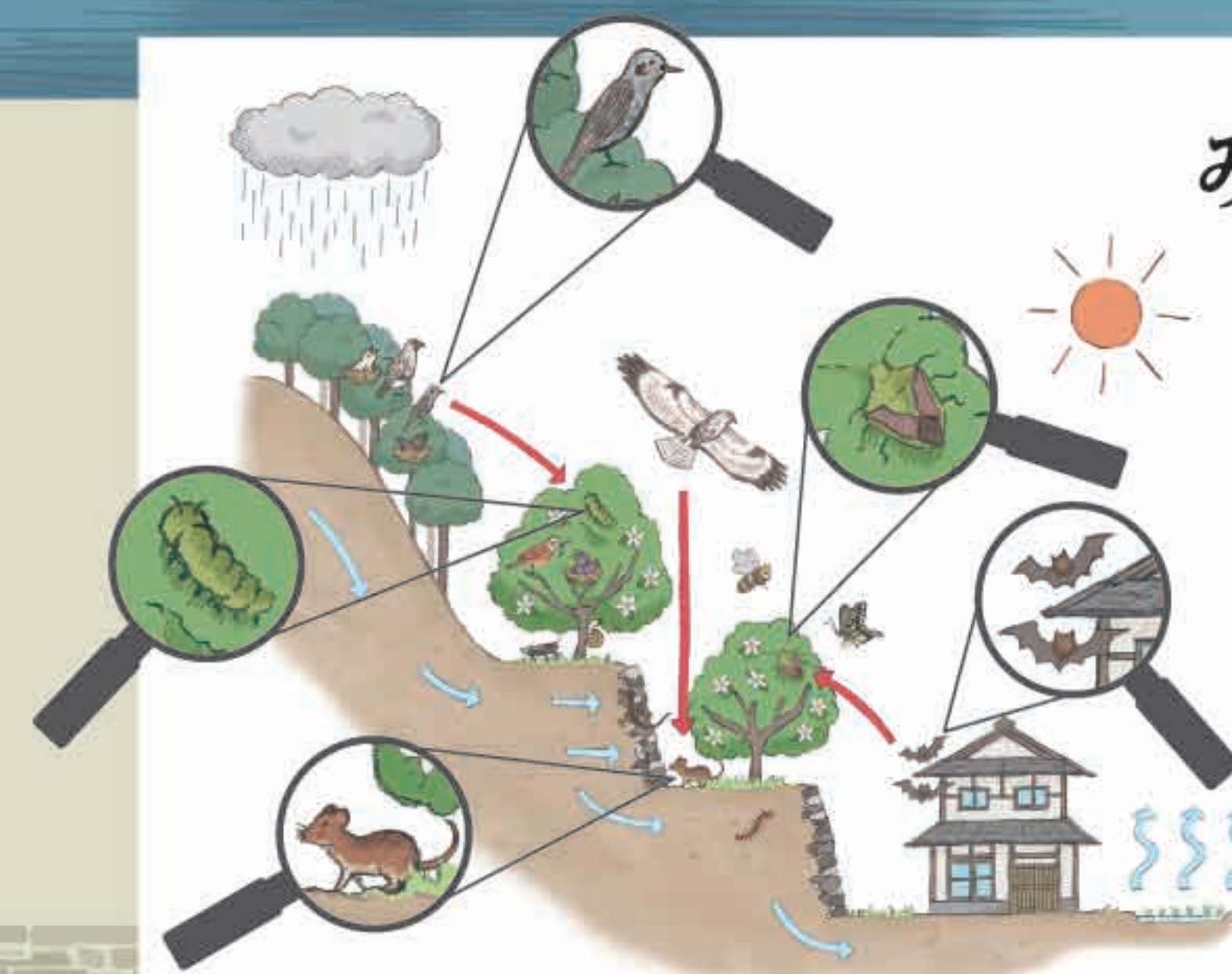
04 苗木の供給



この地域では、一部のみかん農家が苗木生産を担っています。地元の苗木生産者は品種の特性を維持するため、品種の原木により近い樹から接ぎ木用の枝をとり、苗木を生産しています。こうして品種の遺伝的特性が保たれ、果実品質の維持に貢献しています。



みかん農業が育む共生関係



有田・下津地域では伝統的に、山の尾根に雑木林があり、その下に石積み階段園、麓には住宅地という配置となっています。石積み階段園は、みかんの木々がほどよく離れて植えられえた環境です。ここでは、図のようにみかんの樹の中に小鳥が巣を作り、害虫の青虫を餌に子育てをしています。雑木林には猛禽類が住みつき、みかんの根を食い荒らすネズミを石積み階段園の上空から狙っています。住宅地にはコウモリが住みつき、カメムシ類やチョウ類といったみかんの果実や葉を食害する昆虫を食べてくれます。このように、雑木林、石積み階段園、住宅地の生物が密接に絡み合い、特有の生態系が築かれています。